

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和5年9月20日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	39,380円	所得税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	5回	雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000円	その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	69,967円	控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,130,033円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	研究研修費 10/12~10/13' 第85回全国都市問題会議参加負担金及び視察参加負担金及び振込手数料
----	--

摘要	1/2 No.05-000/36で9,000円戻入。
----	----------------------------

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年10月5日
住所	代表者		
債権者等	大阪維新の会 岡本 恵美		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収住所		領収印	
領収氏名	大阪維新の会 代表者 岡本恵美		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年10月5日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

05-002623

伝票番号

呼出番号

05-010406








整理番号



05-000011-05

00538720

05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和5年9月20日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 大阪維新の会
代表者名 岡本笑明 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	39,380円		
内 訳	10/12～10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議参加負担金及び視察参加負担金及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	1,130,033円
使用者名	岡本 笑明、黒川 俊明、西條 徹		

令和5年9月5日

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

第85回全国都市問題会議 参加者各位

(委任者) 住所 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

氏名 第85回全国都市問題会議実行委員会 会長 熊谷 雄一

下記の参加費に係る請求及び受領につきまして、次のものに委任します。

(受任者) 住所 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7番23号 明治安田生命仙台一番町ビル3階

氏名 株式会社JTBジェイネット東北 所長 鎌田 友子

●参加費 第85回全国都市問題会議参加費 お一人様 ￥10,000- (不課税)

なお、請求金の支払いにつきましては下記の口座に振り替えてくださいますようお願いいたします。

銀行名		支店名		預金種目	9. その他 ()
口座番号					
口座名義	(カナ)				

株式会社JTBジェイネット東北
 所長 鎌田 友子
 〒980-8520
 宮城県仙台市青葉区一番町3-7-23
 明治安田生命仙台一番町ビル3階
 担当者: [REDACTED]

請求書番号: 223394317000360004
 登録番号: T8010701012863

請求書

黒川 俊明 様

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 ￥9,000 (税込)

イベント名	第85回全国都市問題会議		
イベント会期	2023/10/12 ~ 2023/10/13		
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分	
	￥9,000	￥818	-
(10%対象)	￥9,000	￥818	-
(8%対象)	￥0	￥0	※1
(対象外)	￥0	￥0	※2
入金額	￥0		
請求残額	￥9,000		

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お支払期限 2023/09/29

口座情報

銀行名 [REDACTED]

支店名 [REDACTED]

口座種別 [REDACTED]

口座番号 [REDACTED]

口座名義 [REDACTED]

明細は次頁以降をご参照ください。

請 求 明 細

請求書発行日: 2023/09/22

2 / 2

請求額合計 ¥9,000 (税込)

【内訳】

イベント名 イベント会期	第85回全国都市問題会議 2023/10/12 ~ 2023/10/13	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
申込日	ご利用日・内容				
2023/09/07	2023/10/13 12:10~18:30 【D:自然】「人と自然が共生する三陸復興国立公園の北の玄関口」視察コース 黒川 俊明 様	¥9,000	1	¥9,000	10%
① 請求額合計				¥9,000	¥818
				(10%対象)	¥9,000
				(8%対象 ※1)	¥0
				(対象外 ※2)	¥0
② 入金額				¥0	¥0
③ 請求残額				¥9,000	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

だいしん キャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日		取扱金庫・店番・通番	
05 10 05		16300747-0119	
お取引店		口座番号	
お取引金種	万円	3千円	1千円
		400円	000円
		30円	1円
お取引内容	振込		
		2千円	0円
		3円	0円
手数料	¥380ページ		お取引金額
時刻	13:20		¥39,000*
説明コード	お取引後残高		

お受取人

様










ご依頼人

000204イスマジオツシキカイ オオサ
カインノカイ 様 0725331131

印紙税申告納
付に
税務署承認済

大阪信用金庫

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 5年 9月 27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	81,620 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	6 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	151,587 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,048,413 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議
----	------------------------------------

摘要	岡本議員
----	------

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月10日
	住所	代名		
	名称	大阪維新の会 岡本 恵美		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所	領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本恵美	

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月10日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号

05-002623

伝票番号

05-010654

整理番号








05-000011-06

呼出番号

00539633



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

大政経新の会
岡本笑明



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	岡本 笑明		
予算科目	旅費	交付残額	1,048,413円
使用者名	岡本 笑明		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	岡本 笑明				
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)							
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセ이버) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1		14,080					14,080
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	200	繁忙期			6,010
" (大阪外環状線) なんば 難波			290					290
泉大津 (南海本線)			490					490
(線)								
(線)								
10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。							計	81,620

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会	氏名	岡本 笑明
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁	令和5年10月13日
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
	km	円	円	円	円	円	円	円
泉大津 (南海本線) 難波		490						490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4							
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080						14,080
" (東海新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	200	繁忙期			6,010
" (大阪外環状線) なんば		290						290
難波 (南海本線) 泉大津		490						490
(線)								
(線)								
							計	81,620

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額	¥	8	1	6	2	0
----	---	---	---	---	---	---








泉大津市会計管理者 殿

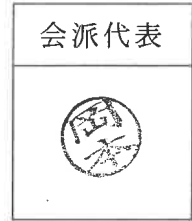
職名 大阪維新の会

氏名 岡本 笑明



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号		収 受 年 月 日	令和5年10月17日	
差 出 名	大阪維新の会 岡本 笑明			
あ て 名	泉大津市議会議長	提 出 期 限		
収 受 文 書 の 記 号		収 受 文 書 の 日 付	令和5年10月17日	
件 名	報告書			
	議長	副議長	事務局長	次長
				
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
				
				合 議
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項				
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>				



報 告 書

令和5年 10 月 17 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 岡本笑明



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

今回初めての全国都市問題会議に参加させていただきました。

今回のテーマは【文化芸術・スポーツが生み出す年の魅力と発展】

このテーマに相応しい街、八戸市にて開催されました。

八戸市は、ひと・産業・文化が輝く北の創造都市として1929年に市制が施行され、【文化芸術を通して市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、文化芸術の力を活用した魅力あふれるまち八戸の実現】を理念に掲げています。

アートとは、「人の心を動かすもの」

八戸市には至る所にアートがあり、そのひとつひとつが街を作る景観のひとつとして溶け込み、会議会場へ向かう道中も、至る所のアートに写真撮影をする人々の姿が見ることができます。まさに人の心をアートは動かしていました。

八戸市には「マチニワ」「はっち」「横丁」という3つのスポットがあり、そこにはたくさんの方が集い、イベントをしたり、お酒や会話を楽しめる環境づくりをされています。特に「横丁」は、そこ自体が全て絵になる空間になっていて、所々にアートが飾られ、どこを見てもSNS映えする空間。また、『酔っ払いに愛を』というテーマを持ち、空店舗などを利用した劇場でお芝居を見せてくれたり、横丁でいきなりダンスパフォーマンスが始まったり、街の至る所から生演奏が聞こえ、人々を楽しませる企画が盛り沢山にあり、そこにただいるだけでワクワクする街でした。

「マチニワ」は本市に置き替えてみると、「シーパスパーク」

「はっち」は、本市に置き替えてみると、「シープラ」。

「横丁」は、中央商店街や、北助松商店街などに置き替えてみて、そこで八戸市のような空間づくりができれば楽しそうだなと、どの市にでもイメージが膨らむような取り組みをされていました。










アートとは、「人の心を動かすもの」

まさにその言葉の意味を市全体で表現している街です。
また行きたいと思う街、「行きたい！」という心に動かされる街づくりを
されている八戸市でした。

我が泉大津市も「行きたい！」と心を動かすための仕掛けづくりは
どのような形がいいか？泉大津市に置き替えながら講演を聴かせていた
だき、シーパsparkやシープラにもっと可能性があること。
また商店街や空き家、空き店舗の課題をどうクリアしていくかを考えさ
せられる貴重な2日間でした。

以上

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和5年9月27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	81,620 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	7 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	233,207 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	966,793 円				
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議
----	------------------------------------

摘要	黒川議員
----	------

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年10月10日
住所	代表者		
名称	大阪維新の会 岡本 恵美		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収住所		領収印	
氏名	大阪維新の会 代表者 岡本 恵美		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年10月10日

泉大津市 会計管理者 あて

002

負担行為番号

05-002623

伝票番号

05-010655

整理番号

05-000011-07

呼出番号










00539636

支出負担行為 確認

05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

54420

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

大阪維新の会
岡本笑明



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	黒川 俊明		
予算科目	旅費	交付残額	966,793円
使用者名	黒川 俊明		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	黒川 俊明				
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号) 種差海岸、葦毛崎展望台、蕉島 外							
目的及び用件	第85回全国都市問題会議及び行政視察に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4							
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080	特急料金 (はやぶさ) 6,800					14,080
" (東海道新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010
" (大阪外口御堂筋線) なんば 難波	556.4		290					290
泉大津 (南海本線)		490						490
(線)			10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。				計	81,620
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会	氏名	黒川 俊明
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁	令和5年10月13日
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号) 種差海岸、葦毛崎展望台、蕉島 外		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議及び行政視察に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセ이버) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4							
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080	特急料金 (はやぶさ) 6,800					14,080
" (東海道新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,800
" (大阪外環御堂筋線) なんば	556.4							6,010
難波 (南海本線) 泉大津		290						290
" (南海本線) 泉大津		490						490
" () 線								
" () 線								
10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。							計	81,620

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿








金額 ￥ 8 1 6 2 0

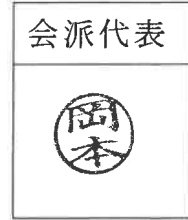
職名 大阪維新の会

氏名 黒川 俊明



□決 裁 ■供 覧


受 発 記 号 ・ 番 号				収 受 年 月 日	令和5年11月14日				
差 出 名		大阪維新の会 黒川 俊明							
あ て 名		泉大津市議会議長			提 出 期 限				
収 受 文 書 の 記 号				収 受 文 書 の 日 付	令和5年11月14日				
件 名		報告書							
議 長		副 議 長		事 務 局 長		次 長		合	
									
主 管	次 長 補 佐		議 事 調 査 係 長		庶 務 係 長		主 査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>									



報 告 書

令和5年 11月 14日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会
出張者氏名 黒川俊明 

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目 的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

第 85 回の全国都市問題会議が青森県の八戸市にて開催され、参加を致しました。

日本各地での共通の問題である「少子高齢化・人口減少」における「まちづくり」の先進事例に触れることが出来ました。

今後は「少子高齢化・人口減少」が加速していきます。加速してから手を打っているのでは手遅れになりますので、出来ることを精力的に進めなければなりません。

それぞれの都市で街の特色や課題が違う中で、取り入れるべき取り組みや参考になる内容を、今回の都市問題会議に参加することで収穫を得ることが出来ました。

スポーツ、特にプロスポーツや実業団スポーツチームがその都市を拠点にしている事例がありましたが、泉大津の現状では参考にはなりませんし、そういったチームを誘致するのは不可能ではないにしても時間の掛かる実現予測の立たない施策です。

ところが、その取り組みの事例をお聞きしていると、様々な工夫をされていることが分かりました。

プロスポーツの人気に頼っているのではなく、地域交流の促進に加えて、「自治体と地域住民とチームと何か」を掛け合わせている工夫が多いことが理解できました。

例えば、下記の 3 点は「なるほど」と感じました。

- ① スポーツ選手における体調管理や医療は最先端の取り組みを模索されている中で、その知見や施設などを地域住民の方々にも共有し地域医療に生かしている取り組み。
- ② スタジアム来場者やサポーターを対象に定期的なアンケートを実施し、その結果から地域が抱える課題を浮かび上がらせる。
- ③ スポーツと教育を関連させる。

これは、本市にとっては下記の点で参考になると感じました。

- ① 本市の特色あることを、企業と連携し、地域社会に生かしていく。
- ② 的確なアンケート収集と、その分析と活用。
- ③ 本市の特色と教育を、どのように連携できるか。

先進事例をお聞きしていて、いくつかの事例で共通している内容がありました。

それは、

「行政が地域交流や地域活性のための施設を作っても、そこを運営し利活用するのは人」ということです。

「施設よりも人のほうが大事」ということであり、「施設と人、ともに整うと大きな効果が発揮できる」という事が理解できました。

わざわざ新しいものを街に持ってくることも活性化には寄与するだろうが、「人づくりは郷土の歴史や文化や祭りなどで繋がるのがポイント」のような話も聞けました。

今後は人口減少が避けられない日本ですが、「定住人口が減っても、活動を通して地域づくりに主体的に関わる人が増えれば、街は豊かになるはず」という言葉や、「地域資源の価値をみんなで見出す」ことの重要性も再認識できました。

八戸市の中心部では、赤い提灯がいくつも掛かっている「横丁文化」を創出していたのも印象に残る街づくりでした。

八戸でデコトラの話も聞けることができ、本市では2022年から泉大津フェニックスにてデコトライベントが開催されています。

「だんじり、古くからの交通の要所、由緒ある神社、池上曾根遺跡」など地域資源の価値をさらに上げることは可能であります。

また、京都府綾部市長の話では興味深い内容がありました。

お笑い芸人「シャンプーハット」の宮田てつじさんが綾部市で「アヤベ

ダファミリア」と題して、古民家を活用されているとのこと。
てつじさんとのやり取りで、行政側は結果に対しての意識が強い中で、「結果ばかりを求めるけれど、それよりもプロセスを楽しむことが大事」といった主旨の言葉をてつじさんが言われて「ハッとした」とのこと。

そうです、結果はプロセスから生まれます。
そして、結果が想定以下であってもプロセスを楽しんでいれば、改善改革に繋がり良い結果に繋がることも多々あります。

「プロセスを楽しむことで面白い結果が生まれ、さらに続けるプロセスを通して新しい結果に繋げ、継続的により良いものにしていく」ことが、まちづくりでは重要だと感じさせられました。

シビックプライド（地域への誇りと愛着・郷土愛）からシチズンプライド（ここをより良い場所にするために自分自身に関わるという当事者意識の自負心）の醸成へ繋いでいけるように、議員活動を通じて提案し実行し市民の方々と繋がっていかねばと強く感じました。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和5年9月27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	76,490 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	8 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	309,697 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	890,303 円				
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議
----	------------------------------------

摘要	西條議員
----	------

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月10日
	住所			
	名称	大阪維新の会 岡本 恵美		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所	領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本 恵美	

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月10日
 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号
05-002623

伝票番号

05-010656

整理番号

05-000011-08







呼出番号

00539637



00539637

05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								 

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

大阪維新の会
岡本笑明



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	76,490円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	西條 徹		
予算科目	旅費	交付残額	890,303円
使用者名	西條 徹		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	西條 徹				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日				
出張先(順路)		八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)						
目的及び用件		第85回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
" (三沢空港連絡バス) 三沢空港				1,500				1,500
" (飛行機) 羽田空港/関西空港 関西空港		JAL156/229便 (スペシャルセイバー) 20,320						20,320
泉大津 (南海本線) 泉大津				720				720
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
							計	76,490

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会	氏名	西條 徹
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁	令和5年10月13日
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
" (三沢空港連絡バス) 三沢空港				1,500				1,500
" (飛行機) 羽田空港/関西空港 関西空港		JAL156/229便 (スペシャルセイバー) 20,320						20,320
" (南海本線) 泉大津				720				720
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
							計	76,490

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額	¥	7	6	4	9	0
----	---	---	---	---	---	---

泉大津市会計管理者 殿

職名 大阪維新の会

氏名 西條 徹



R5. 8. 25
西條議員から
ご



JAPAN AIRLINES

Web 6b021f1596ce550c99e956efb5d66264
2023年7月27日

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

西條徹 様

金額 20,320円 (税込み)

但し	運賃として
航空券番号	1312471926339
航空券発行日	2023年7月27日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

I ご利用旅程・運賃明細

サイジウトオル様

2023年10月14日 (土)

運賃：スペシャルセイバー乗継

16:50 三沢

クラス：普通席

18:15 東京(羽田)

便名： JAL 156 | J-AIR運航

20,320 円

20:55 東京(羽田)








クラス：普通席

22:10 大阪(関西)

便名： JAL 229

合計金額 20,320円

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年11月14日				
差出 名		大阪維新の会 西條 徹							
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限				
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年11月14日				
件 名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合	
									
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>									

会派代表



報 告 書

令和5年11月14日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 西條 徹



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目 的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

アートの役割について

アートの以下のような特性を活かすことで、まちづくりに活かすことができる。アートは、人の想像力や多様性を刺激し、社会問題を考えるきっかけを与えてくれる。絵画や音楽、演劇など、さまざまな形で表現されるアートは、私たちに新しい世界や考え方を提示することができる。それは、過去や未来、ここではない場所を想像させてくれるような、時間や空間を超えた感覚を持つものであり、人と人の間にある違いや個性を認め合う価値観を持つこともできる。さらに、心に作用して、社会的課題に対して持続的に取り組む気持ちを動かしてくれることもある。つまり、アートは、私たちの生きる力であり、人をつなぐ基盤であり、持続可能な社会を築くための大切なものだ。たとえば、日常の中で自分を見つめ、人と接するきっかけを与えてくれたり、大きな力が世界を動かすのではなく、一人一人の小さくても確かな想いが時代を変化させていくような社会を想像させてくれる。また、SDGsなどの具体的な目標や期限にとらわれない、柔軟で創造的な視点を与えてくれるため、アートは、私たちの生活を豊かにしてくれる、かけがえのない存在だ。まちの課題に対してアートの特性を活用することに大きな可能性がある。

文化、スポーツによるまちづくりについて

八戸市は、青森県の南東部に位置し面積は約 305km²、人口は約 22 万人の中核市である。八戸市は、全国有数の水産都市として、また東北有数の工業都市、国際物流拠点都市として発展してきた。また、世界遺産の縄文遺跡群や国宝の合掌土偶、八戸のえんぶりや八戸三社大祭などの伝統文化、種差海岸の自然景観、八戸前沖さばや八戸せんべい汁などの食文化、8つの横丁などの昭和の風情など、貴重な地域資源を有している。八戸市では、市民の多様で特色ある自主的な文化活動を「多文化」と定義し、その振興策を検討してきた。また、中心市街地活性化のために、地域資源の魅力を創出・発信し、文化芸術、産業、観光、市民活動、子

育て支援といった各施策を一体にした施設として、八戸ポータルミュージアムはっちや八戸ブックセンター、八戸まちなか広場マチニワ、八戸市美術館などを整備し、市民と共に企画事業を展開してきた。八戸市の文化施設運営のキーコンセプトは、その場に行かなければ得られないもの、出会えない人やコトが集まる場を、市民が観客としてではなく、当事者として自らも参加したり創作したりできる形にすることである。八戸市は、古くからスケートが盛んな「氷都八戸」として知られ、八戸市長根屋内スケート場 YS アリーナ八戸やフラット八戸などの施設を整備し、スケート新時代を迎えました。また、サッカーのヴァンラーレ八戸 FC やアイスホッケーの東北フリーブレイズ、バスケットボールの青森ワッツや八戸ダイムなど、4 種目のプロスポーツチームが活動拠点を置いており、市民による多様な関わり、楽しみや活躍、学びの場を提供している。スポーツや文化は、人と人の顔が見えるコミュニティや機会を提供するまちづくりに活かせられる。

文化政策について

八戸ポータルミュージアムはっちは、青森県八戸市の中心市街地に位置する複合文化施設です。2011 年に開館し、観光、地域資源、ものづくり、食文化、祭礼と芸能など、八戸の人々の営みを紹介するショーケースであり、市民を主体とするさまざまな活動の拠点としても機能している。同館では、開館当初から文化芸術事業ディレクターの高橋良さんを中心に、10 年間にわたりアートプロジェクトが展開されてきた。高橋さんは、アートプロジェクトの目的を「中心市街地を関心空間にする」「フラットなコミュニケーションの場を創る」「地域資源の価値をみんなで見出す」の 3 つに定め、地域に根ざしたテーマを探し、アーティストと市民と協働でプロジェクトを展開した。

具体的なプロジェクトとしては、以下のようなものがある。

- 「八戸のうわさ」: 中心街のお店や事業所のエピソードを吹き出しにして掲示し、人々の関心を集めた。
- 「八戸レビュー」: 市民同士が取材し合ってエッセイとポートレイトを制作し、地域の魅力を再発見するきっかけとした。
- 「はっち流騎馬打毬」: 古武芸とロボコンを掛け合わせた騎馬打毬

ロボットづくりとトーナメント大会を行い、地域の伝統文化を現代的に再解釈した。

これらのプロジェクトを通じて、アートプロジェクトの現場では、異なる立場の人たちの間にある壁が壊れ、対等に語り合い、異なる価値観を容易に認め合える場が生まれたと考えられる。また、地域固有の文化や個々のアイデンティティを再発見する視座を住民たちにもたらし、彼らの絆を支え、シビックプライドの醸成に一役買ったと言える。高橋さんは、文化政策は市民が主体的に心豊かに生き生きと生きられる地域社会をつくる政策であると述べている。八戸ポータルミュージアムはっちのアートプロジェクトは、この理念を具現化する取り組みとして、地域の活性化と社会の持続的発展に寄与するものと言える。

アートプロジェクトの効果として、異なる立場の人たちの間にある壁が壊れ、対等に語り合い、異なる価値観を容易に認め合える場が生まれ、地域固有の文化や個々のアイデンティティを再発見する視座を住民たちにもたらし、彼らの絆を支え、シビックプライドの醸成に一役買った。その結果、文化政策は市民が主体的に心豊かに生き生きと生きられる地域社会をつくる政策であると言える。アートプロジェクトは、地域の活性化と社会の持続的発展に寄与する可能性を秘めた取り組みです。今後も、さまざまな地域で、アートプロジェクトが展開されることが期待される。

スポーツツーリズムについて

東御市は長野県の東部に位置する、人口約3万人の小さな市であり、市の中央を千曲川が流れ、標高差が1,500mにも及ぶ南面傾斜の扇状地と台地、河岸段丘が広がる。東御市は古くから名馬の産地として栄え、平安時代には信濃御牧の一部でした。中世には海野氏や真田氏などの信濃武士の中核として成長し、江戸期には北国街道の宿場町として発展した。市の北部には上信越高原国立公園の湯の丸高原があり、高山植物の宝庫として知られている。東御市は、平地が少ないことを欠点ではなく個性として捉え、地域の資源を活かしたまちづくりを行っています。ワイン醸造や高地トレーニングなどの取り組みが特徴的だ。特に高地トレーニングは、国内最高地点の全天候型400mトラックや国内唯一の高地トレ

ーニング用屋内プールなどの施設を整備し、競泳の日本ナショナルチームの強化拠点となっています。東京 2020 オリンピックで金メダルを獲得した大橋悠依選手も湯の丸で合宿を行った。ワイン醸造では、市内の高標高地で育ったブドウを原料としたワインづくりを推進し、国内外から多くの観光客が訪れる一大産業となっている。また、高地トレーニングでは国内最高地点の全天候型 400m トラックや国内唯一の高地トレーニング用屋内プールなどの施設を整備し、競泳や陸上競技などの選手の強化拠点となっている。これらの取り組みにより、東御市は「高地スポーツの聖地」として知られるようになり、地域の活性化に大きく貢献している。まちの特性を欠点ではなく個性として活用し、市民の健康長寿に活かしている点は大きく学ぶところがある。

プロスポーツクラブについて

プロスポーツクラブは、地域に根ざし、地域の活性化や社会課題の解決に取り組むことで、地域の価値を高めることができる。鹿島アントラーズは、Jリーグ発足時から地元自治体や企業と連携し、「サッカーによるまちづくり」を推進してきた。その結果、地域の資源・財産としての価値が認められ、クラブのステータスが高まった。医療・教育・環境などの事業において、地域に高度な医療や教育機関が乏しいという課題に対応するため、スポーツクリニックやプログラミング教室などの事業を展開しています。また、パートナー企業との連携で、カーボンニュートラルや水平リサイクルなどの環境事業にも取り組んでいる。また、カシマスタジアムを常に進化するプラットフォームにするため、新スタジアムプロジェクトを発表し、まちづくりの核とするための青写真を自治体とともに描いています。また、まちづくりを手掛ける株式会社 KX を設立し、人づくりという観点で地域のビジョンやミッションを掲げています。これらの取り組みにより、鹿島市は「スポーツ王国」として知られるようになり、地域の活性化に大きく貢献している。鈴木氏は、プロスポーツクラブは地域ににぎわいや豊かさをもたらすだけでなく、まちの姿そのものを変える力があると主張している。そのため、自治体は地域のプロスポーツクラブの有効活用を進めるべきであり、クラブの力を引き出し、使い切ってもらいたいと訴えている。プロスポーツクラブは、地

域の貴重な資源であり、多種多様な企業や人材とつながっている。クラブがハブとなり、そうした存在を巻き込むことで社会課題を解決し、まちづくりを推進することができるというのが、鈴木氏のメッセージだ。以下に、それぞれの項目をより分かりやすく解説します。プロスポーツクラブの有効活用の必要性として、自治体としては地域のプロスポーツクラブの有効活用を進めるべきだ。例えば、クラブの事業や活動を支援したり、クラブと連携したまちづくりを推進したりすることで、地域の活性化や社会課題の解決に貢献することができる。泉大津においては、プロスポーツクラブの活用は現時点では難しいかもしれないが、地域課題を一挙に解決に進める強い組織団体文化は存在するだろうと感じた。

文化観光推進法の目的と自治体文化行政の革新性

近年、日本では文化への注目が高まっている。その背景には、2021年に東京で開催されたオリンピック・パラリンピックで多くの海外観光客が訪れたことが挙げられる。海外からの観光客に日本を訪れてもらうためには、観光で得られる価値をより高い満足度へと引き上げていくことが必要であり、そこで注目されているのが、地域の多様な文化だ。2020年に制定された文化観光推進法は、文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的としている。この法律に基づき、文化庁が認定した拠点計画および地域計画は、2023年8月現在で45にのぼる。これらの事業は、文化に関連するさまざまな制度を循環的につなぐことによって、保護・振興・活用で相乗効果を生み出すことを期待している。相乗効果とは、単一的な目標を定めて互いに相殺するのではなく、すべての目標と成果を高め合っていくことを意味する。これまで教育委員会で主に住民個人の学習や住民間のつながりの醸成に活用されてきた文化領域が、観光まちづくりへと面的、空間的、境界を越えて展開されるようになってきている。自治体文化行政は、1970年代から展開されてきた革新的な行政です。その特質として、以下の6点が挙げられます。

1. 地域社会の文化という空間的・集团的アイデンティティに関わる視点を導入したこと
2. 基礎自治体を実践の現場として、日本全国における様々な地域独

自の多様な文化的・歴史的特性を発見し、その存在を再確認したこと

3. 地域の文化振興は、「市民自治による市民文化の形成」を基本として市民主体によって実現できるとされたこと
4. 通常の行政論理や規範の押しつけではなく、行政の政策形成や事業実施のあり方を見直すことの必要性が提示されたこと
5. 地域社会の文化形成において能動的にその責任を担っていく市民という概念を改めてクローズアップしたこと
6. 当時まだ言葉として定着していなかった「協働」（パートナーシップ）という概念を生み出した

近年、特に目覚ましいのが、地域の文化を再評価するという視点で、従来は、芸術文化やエンターテインメント領域の団体やアーティスト等が東京に集中しており、そこから地方に文化を招聘し、地域で振興するという発想が中心だった。しかし、地域にはそれとは異なる分類の文化資源が存在している。今後は、地域の多様な文化資源を活かした文化観光を推進していくことが重要である。そのためには、地域住民や観光業者、行政が連携して、地域の文化の魅力を国内外に発信していく必要があります。その仕組みづくりが今後の泉大津の課題だと感じた。